



代表取締役
安藤 直
東京都足立区出身。大学卒業後は大手飲食チェーンで勤務する。転職を繰り返し迎えた1996年、中古車販売店に就職。7年間の経験を積んで、ノウハウを学んだ後、欧州車の中古車販売を手がける(株)クロスオーバーを設立。こだわり抜いた車の仕入れと親身になって接してくれる対応力で、顧客の信頼を得ている。

徹底的にこだわった一台を提供し 最高のカーライフをあなたに

輸入中古車の販売を手がける(株)クロスオーバー。GMの経営破綻、トヨタの業績悪化など低迷する自動車業界において、細かなサービスと一切妥協しない仕入れで信用を得、順調に業績を伸ばしている。同社を牽引する代表取締役・安藤氏に車への熱い想いを伺った。

納得できる車だけを販売

山川 御社では中古車販売を手がけられているそうですね。この業界に入られた経緯からお聞かせ頂けますか。

安藤 車好きが高じて中古車販売店に就職したのがきっかけです。そこでは7年間お世話になりました。

山川 独立されたのには何か理由があったんですか？

安藤 会社に勤務しての販売ですと、どうしても売ることを優先させなければなりません。私は好きなものに対して妥協できない性格でして、そのうち「私自身が乗りたいと思う、納得のいく車だけをお客様に提供したい」と思うようになったのです。調度、時代の寵児と呼ばれた

堀江貴文氏がテレビなどに多数出演していた頃で、彼の著書を読みあさっていくうち独立の決意が固まりました。

山川 こちらで主に扱っているのは、輸入車になるんですよね。

安藤 欧州車がメインになります。当社は売れそうな車をただ仕入れて販売するではありません。BMWのMシリーズやアウディのバイターボ系など、車好きに人気があり、日本全国の中古車市場を探しても10台前後しかないような希少車種を、値段が手頃になったうえに状態も良い「旬」の時期を狙い仕入れます。そして、その厳選した車を、気に入ってくださった方だけに買って頂くというスタイルを貫いているんです。欧州車には各メーカー、各グレードごとに故障しや

すい特有の弱点があります。当社ではその全てを把握したうえで、仕入れの際に部品交換履歴や消耗具合などを徹底的にチェックし、少しでも不満点があれば仕入れないようにしています。仕入れにおいて絶対に妥協しないことがポリシーです。

山川 とことん追求した車ですから、皆さん喜ばれますよね。

安藤 「クロスオーバーさんで購入して良かったよ」とお言葉を頂くことがありまして、嬉しく思っています。当社工場には、各メーカーディーラー出身のメカニックがおりますから、納車前の点検や整備から、納車後にはオプションパーツの取り付け、車検の手配や整備、修理などのアフターサポートまで、メーカーディーラーと同水準のサービスを提供できます。

山川 細やかなアフターフォローもして頂ければ、「中古車だとすぐに故障しそう」という不安は解消されますね。共通の趣味とも言える価値観を持った方がお客様だと、お仕事が楽しいでしょう。

安藤 そうですね。当社はホームページ上でも「シートやハンドル、オプションパーツにもこだわった、私自身が乗りたいと思える車だけを販売しています」とうたっていますから。ご来店される方全員が、「その車に乗りたい」という私と同じ価値観をお持ちなので、毎日が楽しいですね。だから、いつも商売抜きの話になってしまい、カーライフのことをわきあいあいずっと話している(笑)。そ

の中で、ご希望の車の細かなキズや内装などの車両コンディション、オプションや装備、カラーなどの車両詳細、走行距離や年式などのお話もさせて頂いています。納得のいくものを仕入れていますが、中古車は消耗パーツを交換すべき時期がそれぞれことなります。ですから、後どのくらい走行したら部品交換が必要になり、いくらかかるのかということをお客様にわかりやすくきちんと説明しているんです。

山川 楽しく会話しながら教えてもらえば理解しやすいですし、疑問に思ったこともすぐに質問しやすいですね。悪いところも隠さず教えてくれるのは信頼に繋がると 생각합니다。

車はただの移動手段ではない

山川 社長自身はどんな車がお好きなんですか？

安藤 左ハンドルのマニュアル車で、とくにBMWのMシリーズやアウディのバイターボ系。その他には、北欧の国スウェーデンの雰囲気の色濃く残る、90年代のボルボが好きですね。我々車好きにとってこの造りは最高なんですよ。マフラーの場所、アクセル・クラッチの配置、全てが車に乗ることを楽しくしてくれます。

山川 私の主人も運転好きでして、車の良さを、目をキラキラさせながら話してくれるんですよ。好きなものに対してボ



リシーを持っている人は素敵ですね。

安藤 車は移動の手段というだけでなく、いろいろなことが始まる場所だと思うんです。例えばサーフィンへ行くなら、まずは車にボードを積みこんで、海へ向かう車内では景色に合うノリノリの曲をかける。そして、海についたらウェットスーツを着てサーフィンを楽しみ、帰り道には少し落ち着いた曲を流す。準備から帰宅するまで全てを合わせて1つの楽しみなんですよ。車とアウトドアなどを、ジャンルを超えて融合させ楽しむ。そのお手伝いがしたいという想いから、社名を「クロスオーバー」と名付けました。

山川 想像するだけで私もウキウキしてきました。これからはどんな展開を考えていますか？

安藤 “趣味の追求——”この姿勢を変えることなく、お客様に最高の一台を提供していきます。将来的にはmixiのようなコミュニティサイトを製作して、当店で車をご購入頂いた、互いの価値観を共有できる人たちが交流できる場を設けたいですね。



(写真左) Webプロデューサー 伊藤大輔氏

Guest Comment>>>

山川 恵里佳 (タレント)

「10年以上前の車に乗っているお客様も多いから、車のことだけでなく、環境のことも考えなくてはいけない」とおっしゃっていた安藤社長。今はお客様個人が、植樹をしたりガーデニングをしたりと、少しでも環境に貢献できるように取り組んでいるそうです。将来的には社長の作るコミュニティが大きな流れとなって、車好きの方が集い植樹している——そんな光景が見られることを期待しています。

ゲスト写真